

使用時に注意を要する抗生剤とグラム陰性桿菌の耐性化

<経口レボフロキサシ>

どこの感染症？呼吸器感染？尿路感染？→必ず培養提出を！

<メロペネム、イミペネム>

用法、用量確認！緑膿菌感染ありますか？→必ず培養提出を！

<セフトリアキソン>

どこの感染症？胆道系感染にはNGです→必ず培養提出を！

当院の開院時～年度ごと薬剤AUDと主なグラム陰性桿菌耐性化率の推移

